

# 第5学年3組 図画工作科 学習指導案

指導者 橋本 宏美

1. 日時・場所 平成15年10月15日(水) 5校時(13:40~14:40) 教室

2. 活動の指針(活動を通して育てたい力)

C つくる喜び

想像を広げ、表したいことを表し方を構想し、表現方法を工夫して表す

提案やテーマをもとに自分の表現主題をもち、自分らしい想像を広げながら絵や立体に表す活動を通して豊かに想像力を働かせて、主題の表し方など自分らしい表現の構想をし、自分の思いに合わせて表現の特徴を生かして表していく力を育てる。

3. 題材名 『出発!空想の世界へ』[ファンタジーへの旅 東書題材名](絵や立体に表す)

4. 活動の指針と題材のかかわり

## 《児童の実態》

5年生になってすぐに“図工アンケート”をとってみた。多くの子が「図工は好き」と答えていた。その理由は、「つくる事が楽しい」「好きなものを自由につくれるから」というものが主で、絵をかくことの楽しさは、あまり感じていないような印象を受けた。そこで、絵の具の楽しさを味わえるように学習の導入で、絵の具の技法体験などを取り入れてきた。「絵の具っておもしろいんだね」「たった2色で10色も色がつくれた!」と楽しみながら活動に取り組んでいた。しかし、実際に絵をかく学習になると画面すべてが同じぬりかたになってしまったり、構図を考えることで時間をとってしまったりする子の姿が見られた。画用紙をめぐることで精一杯で、自分の思いに合わせた表現を楽しめていないように感じた。全体を仕上げなければという子どもたちの焦りのような気持ちを感じたので、『もじ文字デザイン』の学習では、小さめの画用紙も用意し、小さい画面を楽しみながら仕上げるという体験を試してみた。すると、少しずつ自分にあった表現方法を考え始め、「どう表すと感じがでるかな。」「～な感じをだしたいんだけど、どうすればいいかな」などの声が聞かれるようになってきた。

また、針金を使った『くねくね夢アート』では、自由な発想で自分なりの表現を楽しんでいる子どもたちの姿が多く見られた。材料も進んで集めたり、付け足したりしながら活動を楽しみ、鑑賞会でも積極的に友だちの作品のよさをみついていた。全体的には平面作品よりも立体作品に“楽しさ”を感じている子が多いが、少しずつ平面作品への取り組みにも楽しさを感じてきている子が増えてきているのが現在のクラスの実態である。

## 《題材設定の理由》

そこで、自由に発想することが好きな子どもたちの実態とさらにふくらませていきたい“表現方法を工夫して表したいことを表す”という活動の2つを取り入れられると考え、この題材を設定した。

空想の世界を表現するという活動は、自由に発想することを楽しめるので、その中で、様々な表現方法を試したり、やり直したりするうちに自分にあった表現を見つける楽しさを味わってほしいと考えている。今までの絵に対する考えに縛られることなく、半立体の作品や画用紙の形を自由に変えたり、画面からはみだしたりする活動が出てくることを期待している。また、自分だけの空想の世界を表せる時間として子どもたちが楽しんで活動に取り組んでくれることを願っている。

## 《活動に向けて》

本題材に向けて、日常の活動の中でも、新たな技法体験の場を設けたり、紙をくしゃくしゃにして使う方法やちぎってはっていく方法などを紹介したりして、子どもたちの表現の手がかりになるよう努めてきた。

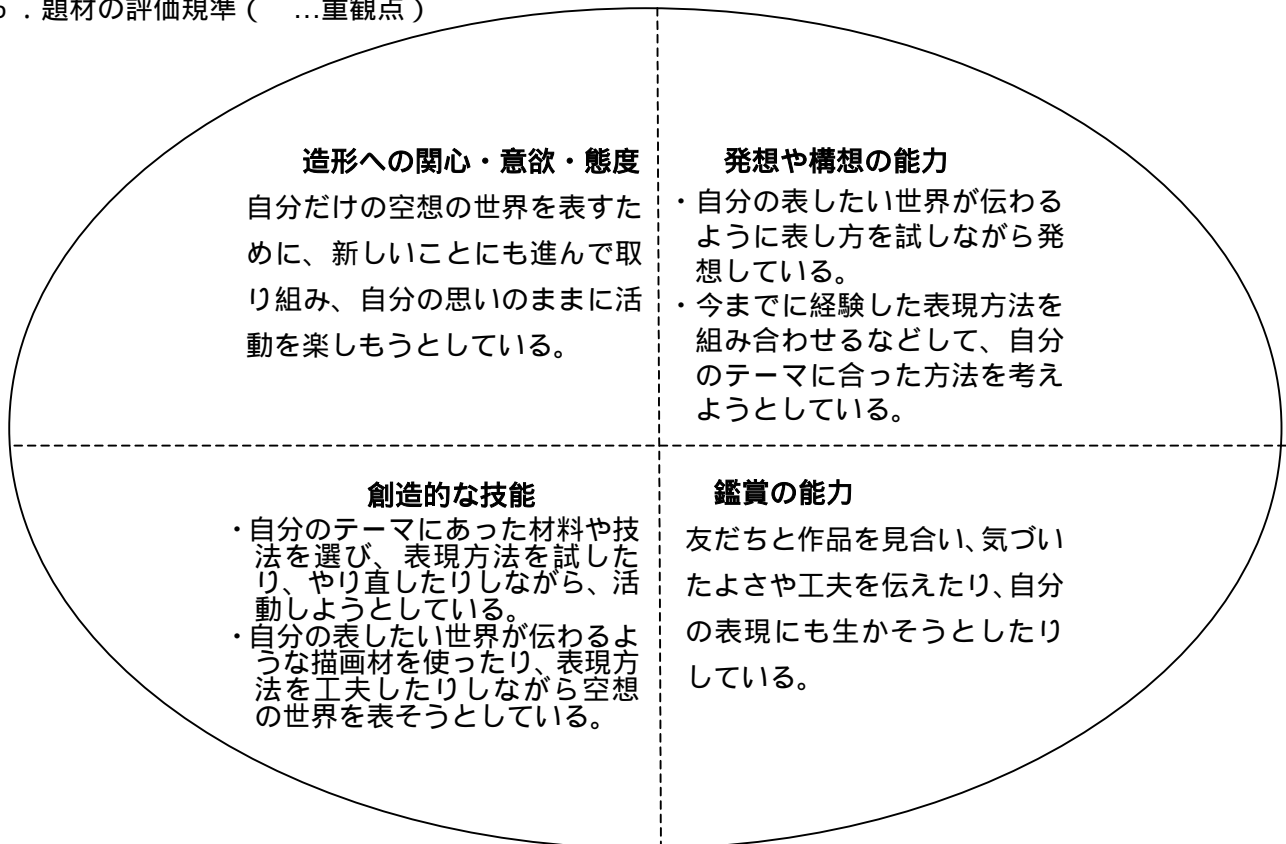
また、子どもたちが表したいことをみつけられるように、画用紙や材料、用具なども自分で選べるようなお試しコーナーなどを設けていきたい。この題材では、自分のテーマをしっかりとつことが、表現の工夫につながると考えている。そこで、導入段階では、一人一人のテーマがしっかり決められるように十分な時間を確保していきたい。思いをふくらませられるように、表したい世界について発表する場を設けたり、個別に話を聞いたりして、子どもたちに寄り添いながら活動を進めていきたいと考えている。また、一人一人の子どもたちの活動をできるだけ見取り、対応していけるように、学習カードを使って進めていこうと考えている。

この題材を通して、表したいことをよく考え自分のテーマをみつけていく楽しさも実感してほしい。また、これまでに経験した表現方法や材料の生かし方などを組み合わせ、新たな方法を考える子どもたちの姿が見られればと願っている。

### 5. 題材のねらい

自分の空想した世界を、思いが伝わるように、表現方法を工夫したり、材料の特徴を生かしたりして表すことを楽しむ。

### 6. 題材の評価規準（…重観点）



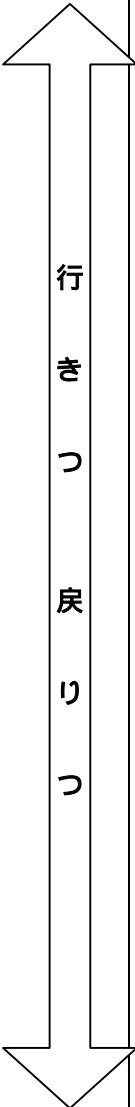
### 7. 準備

《児童》 水彩絵の具、はさみ、のり、身近材など（アルミホイル、毛糸など）

《教師》 画用紙、色画用紙、模造紙、ボンド、ローラー、コンテ、金網、歯ブラシ、ふりかえりカード・鑑賞カードなど

8 . 指導と評価計画 ( 6 時間扱い )

時間	活動内容 予想される子どもの主な活動	教師の働きかけ 評価規準 ( 評価方法 )
一次 ( 255分 ) 本時は60分扱い	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">                         空想の世界をイメージして、自分だけの世界を広げよう！                     </div> <p>自分のテーマを決め、表したい世界を考える。                      海底の世界を表したいな。                      恐竜がいたころの世界を考えたいな。                      花の世界を表したいな。                      どんな世界がいいかな。浮かんでこないなあ。</p> <p>自分のイメージに合う表現方法を考える。                      コンテでほかすとふわふわしてやわらかい感じになったよね。                      紙をくしゃくしゃすると布みたいになるね。</p> <p>～な世界を表したいんだけど、どんな方法がいいかな。</p>	<p>空想の世界が広がるように「行ってみたい～は？」                      「もし～できるとしたら」などと投げかける。                      自分のテーマを決め、表したい世界を発表できる場を設定する。</p> <p>机間巡視しながら、なかなか思いが広がらない子には、1対1でかかわっていく。</p> <p>表現方法が広がるように今までの技法を思い出し、話し合いの時間をもつ。                      今まで経験してきた技法や新しい技法を紹介し、子どもたちの表現の手がかりになるようにする。                      半立体的に表してもよいことを伝える。                      アイデアスケッチをしたい子のためにプリントを用意しておく。</p> <p>なかなか活動が進まない子には、どんな方法で表したいのか話を聞き、表現方法を一緒に考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【関】</b>自分だけの空想の世界を表すために、新しいことにも進んで取り組み、自分の思いのままに活動を楽しもうとしている。                      ( つぶやき・行動観察・ふりかえりカード )</p> <p><b>【発】</b>自分の表したい世界が伝わるように表現方法を試しながら発想している。                      ( 行動観察、アイデアスケッチ、会話、ふりかえりカード )</p> </div>
	<p>考えた表現方法に合わせて、試しながらその世界を表す。                      海底は、たんぼで変化をつけてみようかな。                      岩山は、色画用紙を丸めてみると感じがでそうかな。                      花びらは、紙を何枚も重ねてみたらどうかな。</p>	<p>お試しコーナーを用意しておき、子どもたちが試しながら進めていけるようにする。                      自分のイメージに合った表現方法、材料、用具などを選ぶように声をかける。                      途中で付け加えてもよいことや友だちと作品を見合うことをすすめる。</p>

	<p>なんだか思うようにいかないな。</p> 	<p>必要に応じて美術作品を紹介し、表現方法のヒントになるようにする。</p> <p>ふりかえりカードから、子どもたちの状況を把握し、アドバイスになるコメントを残していく。</p> <p>[発]・自分の表したい世界が伝わるように表し方を試しながら発想している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに経験した表現方法を組み合わせるなどして、自分のテーマに合った方法を考えようとしている。</li> </ul> <p>(行動観察、アイデアスケッチ、会話、ふりかえりカード)</p> <p>[技]・材料や技法を選び、表現方法を試したり、やり直したりしながら、活動しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表したい世界が伝わるように自分にあった描画材を使ったり、表現方法を工夫したりしながら空想の世界を表そうとしている。</li> </ul> <p>(行動観察、作品、ふりかえりカード)</p> <p>[鑑] 友だちと作品を見合いながら活動し、そのよさを自分の作品にも生かそうとしている。</p> <p>(行動観察、ふりかえりカード)</p>
<p>一 次 (30分)</p>	<p>自分の作品にタイトルをつけたり、友達の作品を見合ったりする。</p> <p>たんぼを使ったら海底の不思議な感じがでているね。</p> <p>紙をまるめたら立体的になっておもしろいね。</p> <p>何枚も紙を重ねてめくったら、花びらの感じがでたね。</p>	<p>友だちの作品の工夫を見つけ、気づいたことを伝え合うように声をかける。</p> <p>[鑑] 友だちの思いや意図、様々な表し方の特徴について感じたことを伝え合う。</p> <p>(行動観察、鑑賞カード)</p>

9. 本時の学習活動 ( 3 / 6 )

( 1 ) 目標 自分の思いに合わせて、表現の特徴を生かしながら、楽しく表現する。

( 2 ) 評価規準 [ 技 ] 今までの経験を生かし、自分の表したい世界に合う表現方法を考え、取り組んでいる。

( 3 ) 展開

活動内容	教師の働きかけ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     空想の世界をイメージして、自分だけの世界を広げよう！                 </div>	
<p>活動の予定や思い、困っていることなどを発表する。</p> <p>海底の世界を表したいな。 恐竜がいたころの世界を表したいな。 花の世界を表したいな。 雲のふわふわ感をだしたいのだけど、どうすればいいかな？ 具体的な思いが浮かばない。</p> <p>自分のイメージに合う表現方法を考えながら、活動に取り組む。</p> <p>海底は、たんぽで変化をつけてみようかな。 岩山は、色画用紙を丸めてみると感じがでそうかな。 花びらは、紙を何枚も重ねてみたらどうかな。 活動が止まっている。</p>	<p>友だちの発表が自分の作品のヒントになるかもしれないことを伝える。</p> <p>困っているところがあったら、みんなに意見を聞いてもよいことを伝える。</p> <p>お試しコーナーを用意しておき、子どもたちが試しながら進めていけるようにする。</p> <p>自分のイメージに合った表現方法、材料、用具などを選ぶように声をかける。</p> <p>途中で付け加えてもよいことや友だちと作品を見合うことをすすめる。</p> <p>効果的な表現方法や楽しい活動があったら子どもたちに紹介していく。</p> <p>必要に応じて美術作品を紹介し、表現方法のヒントになるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[ 技 ] 自分の表したい世界が伝わるように、材料を選んだり、表現方法を試したりしながら、工夫して空想の世界を表そうとしている。 ( 行動観察、作品、ふりかえりカード )</p> <p>[ 鑑 ] 友だちと作品を見合いながら活動し、そのよさを感じたり、自分の作品にも生かそうとしたりしている。 ( 行動観察、ふりかえりカード )</p> </div>
<p>今日のふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次は～を持ってきて、付け加えてみたいな。</li> <li>・～さんの方法がとても感じがでていたよ。</li> </ul>	<p>ふりかえりカードを用意し、次の活動の見通しがもてるようにする。</p> <p>友だちの表現に触れることで、好きな表し方が見つけられることも伝える。</p>

